

今年ほど台風による災害の恐ろしさを
実感した年はないように思います。
災害に見舞われた方々には心からお見舞い申し上げます。

◆ 新入会員をご紹介します！

学校法人尚学院 尚学院国際ビジネスアカデミー が私たちの仲間に加わってくれました。理事の皆様から承認を得て、10月22日に正式に正会員としてお迎えすることができましたので、皆様にご報告いたします。

尚学院国際ビジネスアカデミー（理事長・学院長 名城 政次郎 先生）は沖縄県那覇市にあり、60年以上の歴史をお持ちの専門学校です。<https://www.siba.ac.jp/>

「日本語ビジネスコース」を担当されている 與世山 圓 先生 にコースの特徴についてお話を伺いました。

「日本語ビジネスコース」は留学生のための2年コースで専門士を取得し日本で就職して活躍する人材の養成に力を注いでいらっしゃるそうです。

日本語もきっちり指導しつつ、学生の強みをより伸ばす教育体制を整えており、たとえば英語が得意な学生にそれをさらに磨くことで日本人に負けないスペシャリスト、企業で活躍できる人材に育てたいと語っておられました。最近では沖縄に残って就職してくれる卒業生が増えてきていると嬉しそうにお話になっていたのが印象的でした。



全専日協が、全国専修学校各種学校総連合会の分野別専門部会であり、お知り合いの学校が全専日協の会員になっていたことから、事務局に問い合わせてください、この度の入会となりました。これで東北から沖縄まで、会員の輪が広がりました。本当に喜ばしいことです。

お知り合いの学校や企業で全専日協に興味があるという方、ぜひ全専日協を紹介したいという方がいらしたら、事務局までご一報ください。入会案内とパンフレットを送らせていただきます。

◆ 入管行政に関するアンケートの回答が

続々と事務局に届いています！

会員の皆様に依頼をしている「入管行政に関するアンケート」の回答を、すでにお送りくださった会員の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

在留資格認定にかかる日数などの具体的なデータばかりでなく、

「優良な適正校とそうでない学校との明確な区別」を望む声、

「CEFR の A2 レベル以上の認定を考慮し、目の前の学生たちにどのレベルの受験を勧めるか苦慮する」といったお悩み、

「真面目に運営する学校をもっと評価し、発展の道が開かれるような仕組みづくりを法務省をはじめとする関連省庁に期待したい」など

様々な声が集まってきています。

締め切りは 11月8日（金） です。ご協力のほど、宜しく願いいたします。

今後は回答をとりまとめ、実態を把握すると同時に、どのような対応が必要か執行役員を中心に検討し、関連省庁に私たちの声を届けたいと考えております。



◆ CEFR の A2 認定の検定試験 6つ目が追加

法務省のサイトには「日本語能力に関しCEFRのA2相当以上のレベルであることを証明するための試験のリスト」がアップされていますが、そのリストに6つ目の試験としてNAT-TESTが追加されました。ご確認ください。

<http://www.moj.go.jp/content/001307902.pdf>

◆ 中川正春議員と意見交換

深堀和子会長と連携会員でもある全日本学校法人日本語教育協議会の江副隆秀代表理事との二人で中川正春衆議院議員を訪問して、40分以上にわたって意見交換を行いました。

10月8日10時からの意見交換では、深堀会長から入管行政について要望等をお伝えし、中川議員にはそれに対するご意見を頂きました。

全専日協：

現状の入管行政には、いろいろな課題がある。例えば長期間に及ぶ審査、審査結果の地域による偏り、突然の見解変更など。また、審査方法は相手国によってはもっと簡素化できる国もあるのではないか。そこで全専日協では連携会員を含めてアンケートを実施し、入管行政に対する意見や要望を集約して、課題の改善に向けて活動していきたい。

中川議員：

日本語教育推進基本法が施行されたが、今後さらに基本法を詰めていく必要がある。そこで全専日協のアンケート結果を業界の要望として捉え、出入国在留管理庁の幹部も同席させて内容を聞く。また、世界各国での語学留学審査方法の情報を整理してもらえれば、改善に役立てられる。

今回の訪問で、議連としても動いていただける感触を得ました。今後、海外の審査方法の情報を集め、アンケート結果と合わせて主要な方々への陳情を行います。希望をもって進めていきましょう。

そういう意味でも、アンケートを活用して「入管行政の実態と皆様の声」を事務局までお送りください。お待ちしております！



深堀 全専日協会長

中川 衆議院議員

江副 全学日協代表理事

◆会費の納入、ありがとうございました。

会費の入金も順調に進んでおります。
ご協力ありがとうございます。



入金が済んでいない会員には、確認のメールをお送りする場合がございますので、ご了承ください。

10月に新入生が入学したという学校も多いことと思います。
学生たちが早く新しい生活に慣れ、自分らしさを発揮してくれることを願います！

2019年10月31日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当